



学 校 坂 道

副校長 有我 紀彦

学校をテーマにした歌はたくさんありますが、その中でも西口ようこさん作詞・作曲の『学校坂道』は町五小にぴったりだと私は、昨年度着任した時から思っています。

～この坂道のぼったら ぼくの学校があります～

毎朝、登校してくるほとんどの子どもたちは、坂道をのぼってきます。朝の子どもたちの様子は本当に様々です。汗をたくさんかいて笑顔で登校する子、お友達と楽しそうに話しながら来る子、前を見て真剣な顔でまっすぐ進む子、途中でけんかをして下を向いて悲しそうな顔で来る子、時には坂道で転んでしまってけがをして保健室に行く子。そして、お家の方々も、朝のお子さんの様子を確認して、家から送り出していると思います。

子どもたちが学校に来ることに、我々教職員は、感謝の気持ちを常にもっています。私の担任時代、朝の会の私からの最初のあいさつは、「おはようございます。今日も来てくれてありがとうございます。」でした。学校に子どもが毎日来てくれるのは当たり前のことではありません。いろいろな気持ちを抱きながら子どもたちは家を出ます。坂道をのぼってくるのは大変です。それでも、学校に行きたいと思えるような学校にしていくことが我々の役割です。子どもたちが毎日、笑顔で行ってきますと言い、笑顔でただいまと言って帰る学校をこれからも目指していきます。ご家庭での引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

10月には運動会があります。子どもたちの練習の成果をたくさんの方々に見ていただきたいと思います。当日は、励ましの拍手やご声援をよろしくお願いいたします。

